

科目名	12. 生活支援技術		
担当講師	荻野由起子/魚屋真佐江	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 60 時間・4 単位	開講学年	1 学年 通年
評価基準	衣生活：筆記試験(70%) 提出物(30%)等の提出状況 生活支援：筆記試験(90%) 提出物(10%)等の提出状況 ※衣生活(100%)＋生活支援(100%)÷2		
目標	・衣生活 ①被服の機能、管理について理解し、高齢者や障害者に適した被服の知識を深める。 ②基礎的な裁縫の技術を習得する。 ・生活支援 ①尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識を身につける。 ②自立に向けた様々な生活支援の基礎的な知識を習得する。 ③福祉用具を活用する知識を習得する。		
回	講義内容		方法
1	(衣生活①) <u>被服生活を取り巻く社会的環境</u>	(荻野)	講義
2	(衣生活②) <u>被服の機能</u>	(荻野)	講義・実習
3	(衣生活③) <u>被服の管理</u>	(荻野)	講義・実習
4	(衣生活④) <u>被服素材の特徴</u>	(荻野)	講義・実習
5	(衣生活⑤) <u>繊維の種類と分類</u>	(荻野)	講義・実習
6	(衣生活⑥) <u>被服の洗濯</u>	(荻野)	講義・実習
7	(衣生活⑦) <u>被服の保管</u>	(荻野)	講義・実習
8	(衣生活⑧) <u>被服による衛生保持</u>	(荻野)	講義・実習
9	(衣生活⑨) <u>寝具の衛生保持</u>	(荻野)	講義・実習
10	(衣生活⑩) <u>高齢者に適した被服①</u>	(荻野)	講義・実習
11	(衣生活⑪) <u>高齢者に適した被服②</u>	(荻野)	講義・実習
12	(衣生活⑫) <u>障害がある人の被服における工夫</u>	(荻野)	講義・実習

回	講 義 内 容	方 法
13	(衣生活⑬) <u>衣類の補修</u> (荻野)	講義・実習
14	(衣生活⑭) <u>裁縫の基本とまとめ</u> (荻野)	講義・実習
15	(衣生活⑮) 試験・まとめ (荻野)	試験・まとめ
16	(生活支援①) シラバス説明・ <u>生活支援とは何か(意義と目的)</u> (魚屋)	講 義
17	(生活支援②) <u>生活支援と介護過程</u> (魚屋)	講 義
18	(生活支援③) <u>生活支援とチームアプローチ</u> (魚屋)	講 義
19	(生活支援④) <u>居住環境の整備 住まいの役割と機能</u> (魚屋)	講 義
20	(生活支援⑤) <u>居住環境の整備 多職種との連携</u> (魚屋)	講 義
21	(生活支援⑥) 居住環境の整備 自宅の間取りと危険箇所 (魚屋)	講義・演習
22	(生活支援⑦) <u>生活支援と福祉用具の活用</u> (魚屋)	講 義
23	(生活支援⑧) <u>福祉用具を選ぶための視点</u> (魚屋)	講 義
24	(生活支援⑨) 家庭生活にかかわる基本知識 (魚屋)	講 義
25	(生活支援⑩) 家庭生活にかかわる基本知識 グループワーク (魚屋)	講義・演習
26	(生活支援⑪) <u>自立に向けた家事の介護</u> (魚屋)	講 義
27	(生活支援⑫) <u>家事の介護における多職種との連携</u> (魚屋)	講 義
28	(生活支援⑬) 緊急時の対応 (魚屋)	講 義
29	(生活支援⑭) <u>災害時における生活支援</u> (魚屋)	講 義
30	(生活支援⑮) 定期試験・まとめ (魚屋)	試験・まとめ
テキスト・参考書	衣生活： 最新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I 中央法規 生活支援：最新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I 中央法規 随時コピー配布 (資料)	